

1 基本的事項

(1) 方針の位置づけ

- ・まちづくり基本条例第10条に基づく、まちづくり施策を総合的に講ずるための基本方針
- ・長期ビジョンのまちづくり分野における基本的な方針



(2) 展望年次

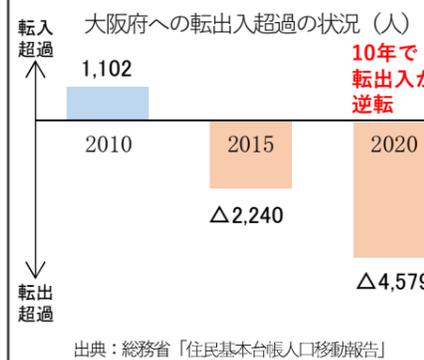
- ・2050年を展望し、まちのめざす将来像を提示
- ・今後概ね10年間の取組の方向性を明確化

※「まちづくり」について

基本方針では、「まちづくり」の対象を都市と集落及びそれらの周辺部における「日常生活に関わる空間づくり（ハード）」とそれに関係する人づくりや仕組みづくり（ソフト）」として定義

2 まちづくりを取り巻く現状と課題（主なもの）

①大阪府への人口流出が加速



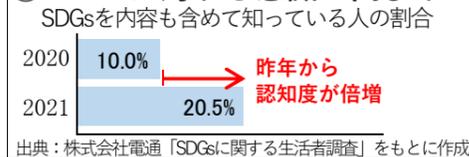
②コロナ禍でのローカル志向の高まり

2020年と2019年の同時期における移住相談件数の比較

団体名	2019	2020	前年比
たつの市	7件	14件	200%
豊岡市	53件	225件	425%
丹波篠山市	122件	241件	198%
淡路市	298件	656件	220%

出典 兵庫県資料

③SDGsに対する意識の高まり



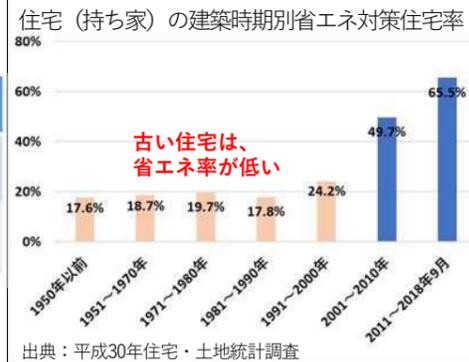
④人口の半数が災害リスクエリアに居住

災害リスクエリア内の人口（総人口に対する割合）

年次	人口（割合）
2015	264万人（47.4%）
2050（推計）	209万人（48.3%）

出典：国土交通省「都道府県別の災害リスクエリアに居住する人口について」

⑤既存住宅の省エネ化が低調



⑥空き家が今後さらに増加



⑦小規模集落は約10年間で急増



3 基本方針の考え方

本県は、気候風土や歴史文化の異なる旧五国の個性を持つ地域が関わり合い、補完し合って発展してきた。また、海外の文化を全国に先駆けて受け入れてきた開放的な地域性を持っている。これに加えて、高度なものづくり産業や多彩な地場産業、個性豊かな食材、防災・減災の知恵と技術等が地力として培われてきた。これらの長を最大限に引き出し、「誰も取り残さない」というSDGsの理念のもと、兵庫のまちづくりを進めていく。

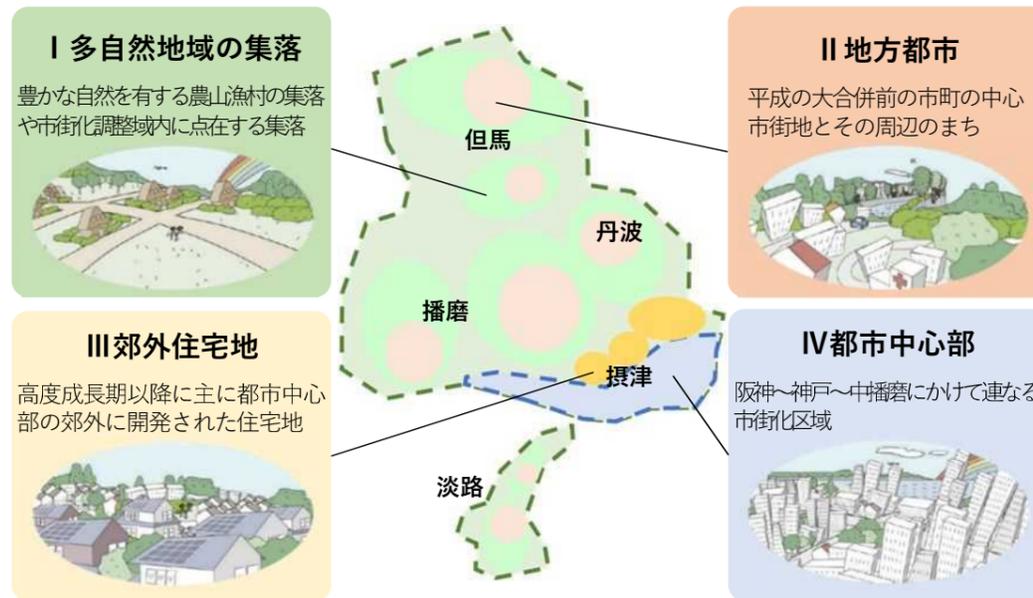
(1) 基本コンセプト

すべての人が自分らしく輝ける「住みたい」「訪れたい」ひょうご

誰も取り残されることなく安心して、育ち、学び、働き、遊び、しあわせに暮らすことができる人間中心のまちづくりを地域主導で進める。大都市から地方都市、多自然地域といった多様な地域を持つ兵庫の強みを最大限に活かし、住みたい、移住したい、訪れたい、一人ひとりが生き生きと躍動する兵庫をめざす。

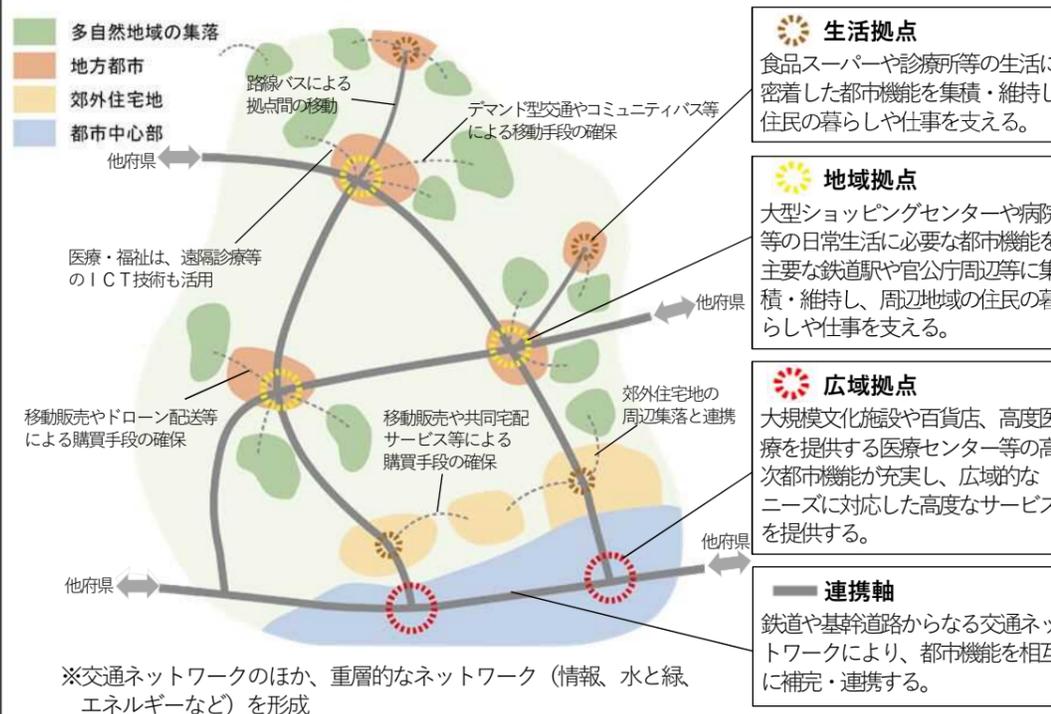
(2) 地域の設定

まちの成り立ち等の特徴を捉えて、4つの地域に分類



(4) 各地域の関係性（持続可能な都市構造の姿）

誰もが安心して暮らし続けられるために、各地域が都市機能を相互に補完・連携し、持続可能でコンパクトな都市構造を構築する。



(3) テーマの設定

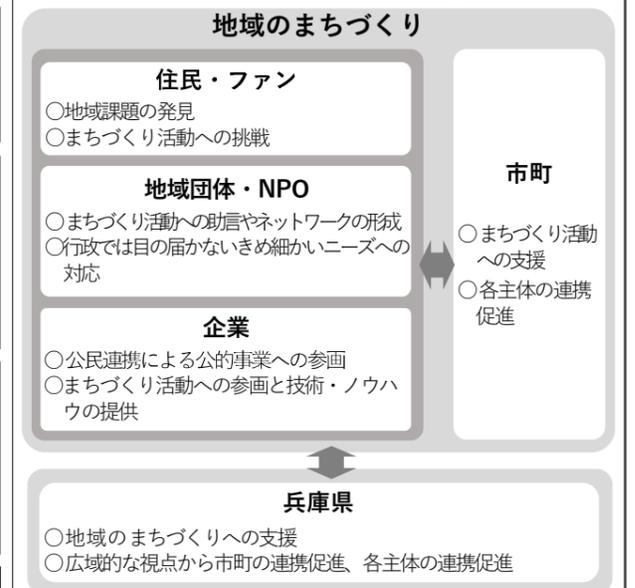
まちづくり基本条例の理念と長期ビジョンの「5つのめざす社会」を踏まえ、3つのテーマを設定

- ①安全・安心
 - 防災・減災のまちづくり、都市の強靱化
 - 安心して暮らせるユニバーサルなまちづくり など
- ②魅力・挑戦
 - 個性を磨き、地域の魅力を高めるまちづくり
 - 新たな価値を生むコミュニティビジネスやスタートアップへの挑戦 など
- ③持続・循環
 - 住民主体の持続可能な地域経営
 - カーボンニュートラル、スマートシティの形成
 - 自然環境や生物多様性の保全 など

※括弧内は、長期ビジョンの5つのめざす社会Ⅰ～Ⅴとの対応を記載

(5) 各主体の役割

住民・ファン、地域団体・NPO、企業、市町、県がパートナーシップにより取り組む。



(6) 指標の設定

「県民意識調査」から関連する項目を抽出
例) ・住んでいる地域にこれからも住みたい人の割合
・住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合 など

多様なつながりがつくる 新たな「ふるさと」

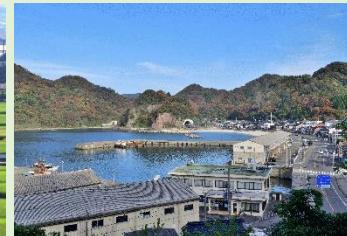
豊かな自然を有する多自然地域が来訪者や移住者を誘引し、地域住民との多様なつながりが生まれるとともに、革新技术を活用した新しい地域づくりが行われている。



丹波篠山市



南あわじ市



新温泉町

<① 安全・安心>

新たな技術と人の絆で、どこに住んでいても安全で安心な暮らしが続けられている

つながりでめざす安全

- 住宅の耐震化が進み、災害のおそれのある場所や災害時の避難方法、要援護者の把握と支援体制をみんなが共有し、いざという時の対策や助け合う準備が整っている。
- 集落へアクセスできるルートや手段が複数あり、災害時に万が一孤立した場合の連絡手段や救援物資などの支援方法が確立している。

便利な買い物・通院

- コミュニティバスや自主運行バスで、生活の拠点となっている地方都市へ訪れ、食品スーパーでの買い物や診療所への通院をするなど、便利な生活を送っている。
- 豊富な品揃えの移動販売やドローン配送により、地方都市に出向かなくても生活に必要なモノが手に入る仕組みも整っている。

身近な安心に囲まれた暮らし

- 顔なじみによる見守りに加え、遠隔診療や介護ロボットなどのICTを活用した医療・介護サービスが普及し、誰もが安心して暮らしている。

<② 魅力・挑戦>

地域資源を活かした新たな働き方や暮らし方のフロンティアとなっている

新しいビジネスの舞台

- 古民家を改修したアーティストの活動拠点には新進気鋭の若者が集い、全国から人が訪れるスポットになっている。
- 廃校や公民館などの空き公共施設がスタートアップ企業のオフィスとしてリノベーションされ、起業に挑戦できる環境が整っている。

働き方のフロンティア

- スキー場などのリゾート地では、年間を通してワーケーションが活発に行われ、地域資源も活用しながら新たなサービスと雇用が生まれている。
- 空き家を借りて移り住む人が増え、農業をしながら酒造りを手がける半農半蔵人（半農半X）など、自分のライフスタイルに合わせた多種多様な働き方が定着している。

誇りと愛着のある暮らし

- 地域の歴史・文化・風土などに根ざした景観を守り育てる取組が広がり、住民の誇りや地域への愛着を育んでいる。

<③ 持続・循環>

食やエネルギーを育む豊かな自然を活かし、様々な人々と関わりながら持続可能な地域経営を担っている

交流が生む元気なコミュニティ

- 移住者、二地域居住者、SNSを通じてファンとなった人たちが地域コミュニティに参画し、新たなアイデアを持ち込み、活発なコミュニティ活動が広がっている。
- 地域住民と交流する人たちによって、地域を超えて村祭りなどの伝統行事が支えられ、子ども世代や移住者に継承されている。
- 住民自らが生活に欠かせない店舗やガソリンスタンドなどを運営し、地域の暮らしを支えている。

食やエネルギーの地産地消

- 太陽光発電やバイオマス発電等の施設導入が進み、エネルギーの自立供給が可能な地域が広がり、地域内で所得や雇用を生み出す循環経済へ移行している。
- 多彩な地域ブランド食材が生産され、農家レストランや近隣の都市で開催されるファーマーズマーケットで販売されるなど、地産地消のサイクルが確立している。

恵まれた自然環境

- 豊かな森や海、水辺、里山が保全され、多様な生き物が生息する自然に触れ、憩い、学ぶことができる場を求めて、地域内外からたくさんの方が訪れている。

集落特性に応じた防災・減災の推進

- 災害ハザードエリアにおける建築物の安全性の確保
- 地域の工務店等と連携した木造住宅の耐震化の推進
- 大規模災害に備えた地区ごとの防災計画等の策定や避難路の整備の促進

ICT等を活用した暮らしの安心確保

- 小型電気自動車や自動運転車による集落内移動や地方都市へのアクセス確保
- 集会所や小学校等の多くの人が集まる公共施設のバリアフリー化の推進
- 移動販売やドローン配送等による日常生活用品の調達手段の確保
- ICTによる高齢者等の見守りや介護システムの導入促進

地域資源を活用した観光・交流のまちづくり

- 市街化調整区域における柔軟な土地利用によるUターンや民間投資の促進
- 古民家やリゾート地の遊休施設等を活用したワーケーションの推進
- 空き家を活用した新たなビジネス拠点づくりの促進
- 自然・田園景観などの地域資源の発掘や情報発信による魅力の向上
- 誰もが円滑に旅行できる宿泊施設のバリアフリー化の推進
- 田舎暮らしや農林漁業体験、楽農生活の推進とSNS等を使った魅力の発信

移住者や関係人口などを含めた担い手育成

- 若者を地域に呼び込むサブスク型空き家活用や多自然居住、二地域居住等の多様な住まい方の推進
- 空き公共施設を活用した地域活動の拠点づくりの促進
- クラウドファンディング等のICTを活用したまちづくりへの新たな参画・協働の促進
- 古民家再生ワークショップや営農体験等の都市農村交流を通じた新たな担い手づくりの促進
- NPO法人や大学等と連携した集落の維持と自立への支援

地域環境と調和した創エネ・省エネの推進

- 大規模遊休地等における地域環境と調和した創エネ施設の立地誘導
- 既存住宅の創エネ・省エネ改修の促進
- コミュニティバス等への電気自動車や燃料電池車の導入促進
- 森林や緑地等の自然環境の保全に配慮した開発行為の適正な誘導
- 地域の企業による県産材の地場産加工品等としての活用促進

個性きわだち誇りある「地域の核」

歴史的なまちなみ等の地域資源を活用したグローバルな取組が、まちの個性を際立たせ、地域の誇りになるとともに、周辺地域の生活や文化、経済の中心としての拠点性が高まり、多様な交流の結節点となっている。



豊岡市



加西市



たつの市

<① 安全・安心>

日常生活に必要な都市機能が地域住民の暮らしを支え、災害への備えが整っている

充実した安全・安心拠点

- 災害時には、支援物資の集積やボランティア活動など初動期や応急対応期の拠点として、多自然地域の集落を支える体制が整っている。
- 災害リスクの少ない居住地を選ぶ人が増え、災害に備えて誰もがハザードマップや防災計画を共有している。
- ICTを活用したまちなかの見守りカメラなどにより、地域コミュニティと連携した防犯・交通安全体制が整っている。

暮らしの核となるまち

- 大型ショッピングセンターや病院、図書館など日常生活に必要な施設が充実し、多自然地域の集落を含めた住民の暮らしを支える地域拠点となっている。

地域をつなぐ移動手段

- 鉄道や路線バスに加え、コミュニティバスやデマンド型交通を組み合わせるなど、便利で快適な移動手段が整っている。

<② 魅力・挑戦>

魅力的で個性豊かなまちに多くの人が集まり、地場産業などの地域資源を活用したスタートアップ企業が活躍している

物語が織りなす個性

- 世界に目を向けた広い視野を持つグローバル企業が、地場産業に高いデザイン性や物語性を持たせ、国内外に展開している。
- 山や川の自然風景、人と自然が調和する田園風景、歴史的まちなみ、市街地など多様な表情を持つ美しい沿道景観が広域的につながり、訪れる人たちの目を潤している。

訪れたいまち

- オープンカフェがある駅前や広い歩道では人々がくつろぎ、居心地が良く歩きたくなるまちなかになっている。
- 食や文化を実体験できるフィールドパビリオンや工場の魅力に迫るファクトリーツーリズムを通して、多くのファンを獲得している。

地域資源の新たな展開

- 空き家を活用して整備された coworking space では多様なアイデアが生まれ、地場産業や地域資源と掛け合わせり新たな価値を持った産業を生み出している。

<③ 持続・循環>

食やエネルギーの地産地消が進み、脱炭素化した地域構造や暮らし方が確立している

人を呼び込む多拠点生活

- 社会のデジタル化により大都市勤務の必要性から解放され、二地域居住や、定住を前提としない身軽な賃貸住宅サービスを利用する人が増えている。
- 培われてきた伝統的な祭りや行事は、地域を超えて担い手が集まり、新たな価値と融合しながら継承されている。

エネルギーの地産地消

- 低炭素を志向するライフスタイルが定着し、建物の瓦や木材は地場産材を使い、断熱性能を高めた建築物が普及している。
- 創エネ・省エネ設備が備わり、電力を自給できる建築物が増え、エネルギーの地産地消が実現している。

緑豊かなまち

- 公園等の公共施設や建築物の敷地などまちの至るところで緑化が進み、今ある緑も大切に維持されている。

災害対策拠点としての備えの充実

- 災害ハザードエリアでの住宅等の規制・誘導
- 地域の工務店等と連携した住宅や施設の耐震化の推進
- 大規模災害に備えた地区ごとの防災計画等の策定や避難路の整備の促進

周辺地域に安心を届ける地域拠点の形成

- コンパクトシティの形成による地域の日常生活を支える都市機能の確保
- 子育てしやすい居住環境の実現のための三世同居・隣居・近居世帯の推進
- 高齢者等が利用しやすい駅舎のバリアフリー化やノンステップバス等の導入の促進
- 障害者等の意見を反映した駅前や商店街等における施設のバリアフリー化の推進
- MaaSの導入による利用しやすい公共交通の整備と地域のコミュニティ交通の維持

歴史・文化等の地域資源を活かした個性あるまちづくり

- 歴史的まちなみや地場産業などの地域資源を活かしたまちづくりの推進
- 地域ごとの特性を活かした沿道景観等における広域景観形成の推進
- SNS等を活用した歴史的まちなみ景観の魅力の発信
- 道路等の公共空間の利活用によるウォークアブルシティの形成
- 誰もが円滑に旅行できる公共交通、宿泊施設のバリアフリー化の推進
- 駅前や商店街を中心としたまちのにぎわいづくりや地域コミュニティの担い手づくりの促進

新たなビジネスや働き方への挑戦

- 古民家を活用した coworking space やワーケーション等の推進
- 空き家等を活用した住民やNPO等によるコミュニティビジネスの拠点整備の促進

多様な暮らし方・働き方ができる環境づくり

- 若者を地域に呼び込むサブスク型空き家活用や二地域居住等の多様な住まい方の推進
- クラウドファンディング等のICTを活用したまちづくりへの新たな参画・協働の促進

循環型の地域構造の構築

- 公共建築物等における県産木材を活用した木造・木質化の推進
- カーボンニュートラルの取組を先導する建築物の創エネ・省エネ改修の推進
- 節電や省エネに配慮した住まい方の普及・啓発
- 食やエネルギーの地産地消による地域経済循環の推進
- グリーンインフラに寄与する公園の整備、建築物の敷地、空き地等の緑化の促進
- 緑地等の自然環境の保全に配慮した開発行為の適正な誘導

多様な主体が住みごたえを 高めあう「まち」

NPO団体等の多様な主体がストックを活用してまちのリノベーションや地域課題解決型のビジネスを展開し、専用住宅地から多様な機能を備えた「まち」では、あらゆる世代が暮らしを満喫している。



神戸市・明石市（明舞団地）



三田市（ワシントン村）



加東市（エリアガーデン周辺地区）

<① 安全・安心>

あらゆる世代がまちづくりに参画し、良好な住環境の中で安心して暮らしている

住民がつくる安全

- 大規模地震の被害を最小限に抑えられるよう、建築物や宅地の耐震性が確保されている。
- 住民主体の防災組織が活発に活動し、地域の防災体制、要援護者の支援体制が確立している。

充実する利便性

- 住宅専用の用途地域が見直され、徒歩圏内に空き家等を活用した医療や福祉、子育て支援施設等が立地し、誰もが安心して便利な暮らしを満喫している。

身近になる移動

- 近くの駅やバス停、商業施設へは自動運転車や低速の電動車（グリーンスローモビリティ）を使って、誰もが気軽に移動している。

<② 魅力・挑戦>

まちのリノベーションやコミュニティビジネスを通じて新たなまちの魅力を創出している

付加されるまちの機能

- 自宅近くのオフィスに通勤し、仕事帰りにはカフェやベーカリーで寄り道を楽しむなど、職住近接のライフスタイルが実現している。
- エリアマネジメント組織がまちのリノベーションを展開し、空き家がカフェや高齢者の自立支援型デイサービスなどに活用されている。
- 週末には、空きスペースにキッチンカーが並び、ランチやスイーツを楽しめるなど、誰もが暮らしを満喫している。

ゆとりと潤いのあるまち

- ゆとりある美しい住環境や自然に近い緑豊かな自然環境が住民主体で維持管理されるとともに、その魅力が発信され、それらに関心のある若年世帯が移住している。

小さな起業への挑戦

- SNS等を通じて共通の趣味で結ばれた人たちがカフェやアクセサリー製作、子育て支援などの小さな起業に挑戦し、地域に新たな価値を生み出している。

<③ 持続・循環>

多様な主体や多世代が活躍し、ゆとりある環境や整った都市基盤を活かしたスマートコミュニティに進化している

バランスのとれた多世代居住

- 中古住宅への住替え、シェアハウスへの入居、テレワーク対応住宅への改修など、多様な住まい方が広がり、多世代がバランス良く暮らしている。

仕事とコミュニティの新たな関係

- テレワークが進展し、通勤から解放されることにより、自分時間が増加し、NPO団体など地域活動に参加する人が増えている。
- ICTによる多世代が参画できる仕組みが普及し、住民主体の地域運営が行われている。

脱炭素が進むまち

- ゼロエネルギー住宅や電気や燃料電池で走る団地内交通が普及するなど、生活の中に脱炭素の意識が根付いている。

緑あふれる適疎な空間

- 住宅の庭や生垣など至るところに花や緑があふれ、道路や公園などの公共空間では、みんなが協働で樹木を管理している。
- 空き地となった隣地を家庭菜園や趣味の芸術活動の場として活用し、充実した毎日を送っている。

住宅地の特性に応じた防災・減災の推進

- 災害ハザードエリアでの住宅等の規制・誘導
- リノベーションの機会を捉えた住宅や施設の耐震化の推進
- PFI等による公的住宅の建替・老朽化対策の推進

あらゆる世代の暮らしの安心確保

- 生活利便施設が立地可能となる用途地域や地区計画等の見直し
- 子育てしやすい居住環境の実現のための三世同居・隣居・近居の推進
- センター地区等の商業施設や公園、駅舎等、公共施設のバリアフリー化の推進
- 配食サービスや日常生活用品の宅配サービスの充実や団地内、団地間をつなぐコミュニティバスの運行支援

空き地・空き家等を活用したまちの多様性の創出

- センター施設や空き家への介護、福祉、子育て支援施設等の新たな機能・サービスの導入促進
- テレワーク、コワーキングスペース等の導入による職住近接の推進
- 既存住宅の流通促進と空き家や空きスペース等の適正管理など空き家・空き地対策の推進
- 遊休不動産の活用により地域価値を向上させるリノベーションまちづくりの推進
- 住環境を保全創造するための新たな景観ルールの策定促進
- 共通の趣味などのテーマ型コミュニティ等によるまちづくりへの新たな参画の促進
- 団地の歴史や資産の発掘とSNS等を使った魅力の発信

多世代が参画する自立したまちづくり

- 既存住宅の流通促進と世帯ニーズに応じた適切な住宅への住替え促進
- 公的住宅における学生シェアハウス等の導入の推進
- まちづくりの核となる人材の発掘・育成の推進

脱炭素社会に適応した豊かな住宅・暮らしの実現

- カーボンニュートラルの取組を先導する建築物の創エネ・省エネ改修の推進
- 住宅等における県産木材を活用した木造・木質化の推進
- 団地内交通への電気自動車・燃料電池車の導入促進
- 郊外住宅地の縁辺部等に残る自然環境の保全

世界へ広がる交流「都市」

国内外に開かれた広域的な交流の拠点として、多様な人やモノ、サービス、情報が集積し、イノベーションが生み出され、常に発展し続けている。また、大規模災害や新たな感染症を見据えた強靱な都市に再構築されている。



神戸市



姫路市



西宮市

<① 安全・安心>

大規模災害への備えがあり、交通や情報ネットワークの充実した強靱な都市となっている

強靱で安全な都市

- 大規模災害に備えた適切な都市機能の分散や密集市街地の改善、建物やインフラの耐震化が進み、防災先進地として災害に強くしなやかな都市になっている。
- 南海トラフ地震や風水害の被害予測、帰宅困難者対策を含めた事業継続計画などをみんなが共有し、災害前と後にとるべき行動を理解している。
- ICTを活用したカメラや位置情報が把握できる見守りシステムなどにより、防犯・交通安全体制が整っている。

便利な交通システム

- 鉄道やバスで都市に訪れた人がBRTやシェアサイクル、パーソナルモビリティなど、目的に応じた多様な交通手段をシームレスに乗換ながら、まちなかを便利に移動している。

<② 魅力・挑戦>

多様な人・モノ・サービス・情報が集積するハブエリアとして、イノベーションを生み出し続けている

継承される都市文化

- 近代化遺産などの歴史資源や都市文化が、シティプロモーションにより魅力的に発信・継承され、国内外から多くの人々が訪れている。

ウォークブルシティの形成

- デジタル社会の進展に伴う人口集中の緩和により過密が解消されたまちなかに、オープンカフェやパークレットが設置されるなど、居心地が良く歩いて楽しい空間が広がっている。

国際交流都市の確立

- 県全体の活力を牽引する基幹産業から若くて勢いのあるスタートアップまで様々な分野の産業と働く場が整っている。
- 播磨灘・大阪湾ベイエリアでは、MICEやレジャーなど国内外の交流が活発で、新しいビジネスや高度な人材が続々と集まっている。

<③ 持続・循環>

自律した活動が広がり、脱炭素社会を先導する都市システムを備えた緑あふれるスマートシティとなっている

ともに創るまち

- 様々なライフスタイルや場所と時間にとらわれないワークスタイルを持つ人々が、住み、働き、人と人とのリアルな交流を大切にしながら、SNS等を通じてまちづくりに関与している。
- まちを訪れる人のニーズに対応した公共空間の活用やイベントの開催など、地域主導の自律的な都市経営が展開されている。

最適化されたエネルギーシステム

- 多くの建築物では太陽光発電パネルや蓄電システムが設置され、分散型エネルギーシステムが構築されている。
- 一部の地域では、適切なマネジメントにより地域内のエネルギー需給が最適化されるスマートシティが形成されている。
- 水素ステーションが整備され、燃料電池車がまちを行き交う水素社会が実現している。

適密で過ごしやすい都市空間

- まちなかに配置された緑豊かなオープンスペースが、都市に潤いをもたらし、県民の憩いの場になっている。

大規模災害に備えた都市の強靱化

- 建築物の耐震化、耐水化など災害リスクを踏まえた防災まちづくりの推進
- 災害ハザードエリアでの住宅等の規制・誘導
- 建築物等の耐震化による大規模災害時の緊急物資の輸送・避難路の確保の推進
- 大規模災害に備えた地区ごとの防災計画の策定促進
- 都市型水害に備えた貯留・浸透・避難対策等の推進

ソフト・ハードにわたる総合的な安全・安心の構築

- 障害者等の意見を反映した駅前や商店街等における施設のバリアフリー化の推進
- 子育てしやすい居住環境の実現のための三世同居・隣居・近居世帯の推進
- リアルタイム交通情報の取得やシームレスな乗換がしやすくなるMaaSの導入による公共交通等の活用促進

都市ブランドの構築

- 県立公園のリノベーションやパークPF等の民間投資による公園の魅力向上
- 誰もが円滑に旅行できる公共交通、宿泊施設のバリアフリー化の推進
- 道路等の公共空間の利活用によるウォークブルシティの形成
- 近代化遺産や歴史的まちなみ、地場産業などの地域資源を活かした都市のブランド化の推進
- 駅前や商店街等の中心市街地の活性化やにぎわいを生み出す市街地整備の促進
- 狭小敷地や接道等の制約がある市場性の低い空き地、空き家の流通・利活用促進

情報・人材の集積によるイノベーションの創出

- 都市計画の見直しや交通インフラの整備による播磨灘・大阪湾ベイエリアの活性化の推進
- 駅近などの空きスペースを活用したテレワーク、コワーキング等の導入促進
- スモールオフィス等の起業の場や交流機能を備えた知的交流・創造拠点の整備促進

多様な住まい方の創出と多様な人材の活用

- 若者を地域に呼び込むサブスク型空き家活用や二地域居住等の多様な住まい方の推進
- エリアマネジメント組織等による自主的なまちづくり活動の促進
- テレワーク等により自分時間が増加した住民の地域づくりへの参加促進
- 専門家の育成や管理組合への支援等によるマンションの適正管理や円滑な再生の促進

スマートシティの形成

- カーボンニュートラルの取組を先導する建築物の創エネ・省エネ改修の推進
- 公共建築物等における県産木材を活用した木造・木質化の推進
- 建築物のエネルギーの効率的な利用を図るスマートグリッドの導入促進
- 都市におけるオープンスペースの確保や緑化の推進と適正管理
- 都市に潤いをもたらす都市農地の保全・活用の促進